



自分大好き  
友達大好き  
ふるさと大好き

# 宮小の子

令和5年度 栗原市立宮野小学校  
校長室だより No.4  
2023/9/19  
発行者 小松 英明

## 創立150周年記念「おもいやり坂」植栽活動

8月19日(土)、PTAの奉仕作業の後に「おもいやり坂」の植栽を行いました。お父さんたちは、斜面に登って植栽、お母さん方と子供たちは歩道の清掃を主に担っていただきました。

小職は、お父さん方に混ぜてもらいました。「40cmほどの深さの穴を掘る」と植木屋さんの説明でしたが、斜面が急なことと草木の根がたくさんあって、なかなか思い通りに掘ることができませんでした。みんなで力を合わせて、交代しながら、穴を掘り進めました。穴を掘った後には、肥料を入れて、苗を植えます。苗を落ち着けるために水をかけて土を落ち着けます。暑い中の作業なので、思うように作業は進みませんでした。子供たちが冷たい麦茶を持ってきてくれました。それがとってもおいしいし、やる気が出ました。きっと麦茶には、特別なエネルギーが入っていたんだと思います。

ようやく作業を終えたら、植木屋さんがサッと剪定をしてくれました。作業前からは見違えました。ちゃんと「お」「も」「い」「や」「り」と読めます。植木屋さんのノウハウと宮野小学校のみんなのコラボレーションです。植木屋さんの話だと、12月の記念式典頃には、刈りそろえることが出来そうだということでした。暑い中の作業でしたが、充実した作業でした。よい創立150周年の記念になりました。



みんなに知らせたい

# 今日の宮小っ子



## 夏休み、プール開放時の下駄箱の話

9月12日(火)の朝、プール納めを行いました。児童代表の感想発表がありましたが、3人の代表全てが自分の泳力が伸びたと発表していました。3人だけではありません。全校児童のほとんどがその泳力を伸ばすことができました。良かったです。

体育主任からも話がありました。夏休みのプール開放についての話でした。その話の中で、右の写真が紹介されました。プール開放時の下駄箱です。何かお気づきになりませんか?しっかりかかとをそろえて入れられています。以前、学校の昇降口の下駄箱にしっかり靴が入れられているようすをブログで紹介しましたが、子供たち



の中にしっかり根付いているようです。気持ちよいことをどこでもできる宮小っ子、やっぱりステキです。

## 人権の花運動

9月12日(火)の5時間目のことです。人権擁護委員6名が来校し、人権の花の植栽を行いました。「人権の花運動」は、全国的な取組で、法務省のHPには、自分たちが植えた花を「協力してお世話することによって生命の尊さを実感し、その中で豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的としたもの」と説明されています。栗原市内の小学校を毎年巡回し、宮野小学校では10年ぶりの開催だそうです。



2人一组になって、プランターに土を入れ、花の苗を4本植えました。子供たちは、人権擁護委員の皆さんのお話をよく聞き、ていねいに作業していました。ほぼ作業も終了して、植え付けた苗に水をかけるため、プランターを水道の近くに移動させました。気をつけて作業をしていたとはいえ、土がいくらかこぼれていました。ちょうど体育館の入り口で、児童クラブのみんなが行き交う場所です。ちょっと落ちた土を集めようとホウキで掃き始めました。しばらくすると5年生3人が、ホウキとちりとりを持って手伝いに来てくれました。

先生が、「ほら校長先生を手伝ってきなさい。」と言ったわけでも「誰か、掃くのを手伝ってくれないか。」と小職が言ったわけでもありません。子供たちは、自分たちで見て、自分たちで考えて、自分たちで行動したのです。当然のことですが、早く掃き終えることができましたし、とっても心の底の方が温かくなるような感じがしました。

人権の花運動は、「優しさと思いやりの心を体得することを目的」としているようですが、彼らはすでに体得していると感じました。やっぱり、宮小の子、優しくてステキです。

